

菊陽人 りさーち



にわた ともや
庭田 朋弥さん (7歳)
[杉並台]

- 趣味 少林寺拳法
- 将来の夢 少林寺拳法の先生になりたいです!
- 自慢 食べることが大好きです。
- みんなにつたえたいこと 毎日元気に遊びたいです!

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される方は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。

注) 掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している方に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらよりご連絡させていただきます。



みやた まさき
宮田 雅己さん (7歳)
[新山]

- 趣味 野球
- 将来の夢 イチローにみたいになります!
- 自分を一言であらわすと ゲームが好きです。
- みんなにつたえたいこと 地球温暖化に気をつける!

人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.3】

自分の思いを相手や周りに勇気をもって伝え、それをきちんと受け止める人間関係の中で豊かな生活が生まれていることが子どもの作文から分かります。また、菊陽町では外国にルーツを持つ子どもたちと共に言語、生活習慣、文化の違いを認め合いながら学び合うことを大切にしています。

**「このかなごのわいばと」を
べんごちゃんに**
菊陽北小学校2年 やなりこうせい

じろちゃん、自分がたいせつにしていた犬をけとばされてとてもくやしかったからかみついたんだとおもいました。でも、かみつくんじゃなくて、ちゃんとしてたばでつたえたほうがいいとおもいました。

ほくも、いやだったことをともだちにつたえました。いったらきもちがすっきりしました。あいてもすこしかんがえてかわってくれたからいってよかったとおもいました。



▲遊びが楽しい!

**「ほんごの友だち」を
勉強して**
菊陽北小学校4年 相馬 千乃

体育の授業で、ハンドベースボールをやる時、ピッチャーをしました。はじめて投げるのでうまくできません。すると、相手のチームから「玉が速い!」とか「うまく投げられんなら他の人とかわってよ。」とか言われてなみだができませんでした。もう一度投げようとしたけど、まさおくんが変わった。

てもらいました。相手チームのあきちゃんが、「くちなぎボールを投げるのいいよ。」となぐさめてくれました。うれしかったです。でも、いやだったことを、クラスのみんなに伝えることにしました。言う前は、少し心配でした。でもあきちゃんがいつしよに言うってくれることになったので少し勇気ができました。

わたしが、伝えたらみんなは返してくれました。

「わたしは、ゆきちちゃんに『ちゃんと投げようよ!』とか言っていました。」「わたしは、ゆきちちゃんが泣いたとき、『そんなこと言ったらだめだよ。』と言ったけど、勇気が出なくて言えなかったからわたしも悪いと思います。」

みんなが言ってくれた言葉を聞いてうれしかったです。わたしは、みんなに伝えてよかったなあと思いました。心配も少なくなりました。



▲教え合いの班学習

親の思いに触れて
菊陽中学校3年 陈 璐

「日本はどんな国かな。」と家族みんな好奇心にあふれ、二〇〇八年六月末に定住するために日本に来ました。

日本の学校は楽しいだろうと思いましたが、来日しました。しかし、学校生活では言葉の壁にぶつかり、自分の思いや気持ちを伝えることができます。友達をつくりたいけど



▲みんなで夢に向かって

ませんでした。だから、自分の心を閉ざしてしまいました。

つい最近、友達ができました。私に分からないことがあれば、おしえてくれます。一緒に図書室に行ったり、しゃべったりして私の学校生活が楽しくなりました。

私は日本語を勉強していますが上達が遅いです。努力したいと思えます。

私の家族は四人で、父、母、姉と私です。生まれたときは三五〇グラムでした。名前をつける時、母は可愛く、美しくなってほしくて「瑠」をつけました。「瑠」は、うつろい、すてき、の意味です。

私は赤ちゃんの時、動くことが好きで家族のみんなを喜ばせていました。父、母は、私を宝物として大切にしてくれて、愛されています。しかし、私は腕白すぎて友達と遊ぶ時、けんかが多く、お母さんが困ったときもありました。でも、今はとても素直になったと思います。今、良く茶碗洗いや洗濯の手伝いをしています。お母さんを喜ばせています。

私が懐かしいと思うことは、私のお祖母ちゃんが私の蒙古の名前「棋木格」を呼ぶことでした。

父、母の私に対する希望は、自分で夢を探し、その夢に向けて、頑張ってほしいと言っています。

きくよう文芸

菊陽句会報

母の日や母の知らざる年齢く ぎしぎしや花野に風の生る夕べ 白き帆のころに孕む風五月 一徹な母の弱音や苔の花 母の日や優しさだけの人となり 若葉寒旅の衣の定まらず 驚きぬ晴れたるまに雷ひびき 船酔いも罽釣れしより治まりぬ 老二人鮭の切り身に豆御飯 奥阿蘇の田の潤ひし夏初め 夏来る黄色の団旗威を張れり 高千穂の影が流れる夏の川 毛虫たち学校の木に住んでいる 次ぎの風待つたんばばに気配満つ	坂本百合子 田中 郁子 村田 正三 井 子文 財津 早雪 原野レイ子 西村ひとえ 力 幸子 寺尾千代子 高橋 孝子 佐藤 颯 佐藤 航 佐藤 健 佐藤 節	吾が庭に雉の舞ひ降り夢現 晩年と云へど若葉の俳句道 東阿蘇金峰西に麦熟るる 初節句主役は疲れ母のひざ おくる人おくられ人や春の夢 この谿も山藤揺れて球磨の旅 子供等の石垣探る蟹の宿 観音寺梵鐘透る若葉里 新茶汲む母の言の葉ふと浮かび 鯉轍雨来る予報に降ろしかね ものの芽に触る嬉しき独り言 望郷の風船空にはなちたり 葛蒲湯やひたひたまるき嬰浸す 火取虫偵察かしら直ぐに消え	吉野 早苗 川口 豊子 井上久美子 宮川ユキエ 日高 妙子 曾我 育代 曾我トモ子 紫藤 祥子 村上 朋子 合志 重子 野口 令史 松橋 強 佐藤 澄世 三島 一路
--	--	---	---

短歌会

庭に来る雀は私の足音を聞き屋根より急ぎ下り来る
庭に咲く私のバラは鮮やかで今年もきれいに咲いたと笑う
木々の葉は厳格なまでに変身す自然のままにみるみるうちに
春待ちし若者の声は漲りてみどり広がる大空に消ゆ
吾が前に色鮮やかな芍薬は海辺に浴ひたる庭先に咲く
麦の穂は畑一面に色づきぬ収穫多き実り喜ぶ
寄る窓の外は青葉も波たちうらなる我ら心地よきかな
桜草を玄閑に置き子を待ちあの日空は澄みて青かりき
華やぎし若葉の上に降り注ぐ五月の雨の静かなる音

今村 貞子
上野 敬子
上野 陽子
岡本まさえ
菊川あさみ
下田 久子
皆嶋キクノ
森 敦子
袖井 玲子